令和２年度　愛媛県がん診療連携協議会

第２回がん看護専門部会

令和３年１月26日（火）14:00～15:00
WEB会議：四国がんセンターから発信

議事次第

１．開会
　出席者紹介
　部会長挨拶（四国がんセンター看護部長）

２．議事
　１）令和２年度活動報告（資料1）
　２）令和３年度活動計画について（資料2）
　３）次年度の定例会の日程について
　　　第４火曜日 14：00～15：00（WEB会議）
　　　2021.9.28（火）
　　　2022.1.25（火）

３．閉会

◇添付資料
　１．専門部会レジメ
　２．名簿・出席表
　３．令和２年度活動報告(資料1)
　４．令和３年度研修計画（資料2）

（出席者一覧）　　部会名簿

施設名		職位	氏名（敬略）	代理出席者
四国がんセンター	拠点	看護部長	多田　清美	
市立宇和島病院	拠点	副院長兼看護部長	中橋　恵子	
住友別子病院	拠点	看護部長	守屋　昭子	
松山赤十字病院	拠点	看護部長	児島　二美子	
松山市民病院	推進	看護部長	三笠　照美	
済生会松山病院	推進	看護部長	東　良子	
HITO 病院	推進	副病院長	田淵　典子	
四国中央病院	推進	看護部長	毛利　美鈴	
愛媛労災病院	推進	看護部長	鈴木　美佐	
市立八幡浜病院	推進	看護部長	清水　美智子	
愛媛県立中央病院	拠点	看護部長	山本　格子	
済生会今治病院	拠点	看護部長	宮嶋　優里	
愛媛大学医学部付属病院	拠点	副院長兼看護部長	久保　幸	
済生会西条病院	推進	看護部長	大道美由紀	
十全総合病院	推進	看護部長	鎌倉　文子	
四国がんセンター		副看護部長	田邊　富江	
〃		看護師長	平田　久美	
〃		副看護師長	宮脇　聡子	

（資料1）

令和 2年度活動報告

（資料1）

専門部会：年2回の定例会（9月・1月）

がん看護実践能力向上研修会

研修名	開催日	対象・募集人数
がん看護実践能力向上研修会	R2.8.20−10.8	募集　14名　中止
フォローアップ研修	R2.11.12	R2年度受講者　中止
フォローアップ研修	R3.1.28	R2年度受講者、過去修了者　中止

トピックス研修

研修名	開催日	人数
高齢者のがん治療と看護	未定	未定　中止
認知症を持つがん罹患者の意思決定支援	未定	未定　中止
Web研修　ターミナル期の口腔ケア −誤嚥性肺炎を予防するために−	R2.10.10	50名
（共催）「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」の概要と臨床での活用	R2.10.2	284名
（共催）ELNEC−Jコアカリキュラム看護師教育　プログラム	R3.2.21 2.23	ZOOM を用いた講義とワーク

スポット研修

ご要望等ありましたら、ご連絡ください。

1

(資料2)

令和3年度がん看護専門部会研修案

がん看護実践能力向上研修会

研修名	期間	対象・募集人数
がん看護実践能力向上研修会	5日程度	未定
フォローアップ研修	未定	未定

トピックス研修

研修依頼	開催月日	募集人数
がん患者の精神症状	未定	未定
(共催)ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム	未定 (2日間)	30名程度

1

参考資料5

第３期がん対策推進基本計画(平成30年３月９日閣議決定)(概要)

第1 全体目標

「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」
①科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 ②患者本位のがん医療の実現 ③尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

第2 分野別施策

1. がん予防
(1)がんの1次予防
(2)がんの早期発見、がん検診(2次予防)

2. がん医療の充実
(1)がんゲノム医療
(2)がんの手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法
(3)チーム医療
(4)がんのリハビリテーション
(5)支持療法
(6)希少がん、難治性がん(それぞれのがんの特性に応じた対策)
(7)小児がん、AYA(※)世代のがん、高齢者のがん
(※)Adolescent and Young Adult:思春期と若年成人
(8)病理診断
(9)がん登録
(10)医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取組

3. がんとの共生
(1)がんと診断された時からの緩和ケア
(2)相談支援、情報提供
(3)社会連携に基づくがん対策・がん患者支援
(4)がん患者等の就労を含めた社会的な問題
(5)ライフステージに応じたがん対策

4. これらを支える基盤の整備
(1)がん研究
(2)人材育成
(3)がん教育、普及啓発

第3 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

1. 関係者等の連携協力の更なる強化
2. 都道府県による計画の策定
3. がん患者を含めた国民の努力
4. 患者団体等との協力
5. 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
6. 目標の達成状況の把握
7. 基本計画の見直し

1

2

がん看護実践能力向上研修会の目的

≪目的≫県内のがん診療連携拠点病院等が協働し、県内のがん看護の実情を踏まえた上で、臨床実践能力の高い専門的な看護を提供する看護師の育成を図り、がん患者に対する看護ケアの充実を図ることを目的とする。

R2年度まで	今後
1. がん治療に伴う主な副作用、合併症に対する適切な看護援助が実施できる。 2. がん告知や治療経過で体験する患者・家族の危機状態に応じた精神的支援ができる。 3. がんに伴う苦痛に対する適切なアセスメントと症状コントロールが実施できる。 4. がんとの共生を支えるためのがん患者教育が実施できる。 5. がん患者及び家族が円滑に療養の場を移行するための、情報提供や相談、連携や協働ができる。 6. がん患者及び家族に関わる倫理的ジレンマへの対処ができる。	1. がんやがんの治療に関する基礎知識を踏まえ、がんとともに生きる人の身体・心理・社会的な側面など多角的に支援できる。 2. 診断時からの緩和ケアの提供を行うことができる。 3. ライフステージに応じた支援を行うことができる。 4. エンド・オブ・ライフを見据えた支援を行うことができる。 *1：基本計画　分野別施策　がん医療の充実部分の理解と実践への応用 *2-4：基本計画　分野別施策　がんとの共生の理解と実践への応用）

3

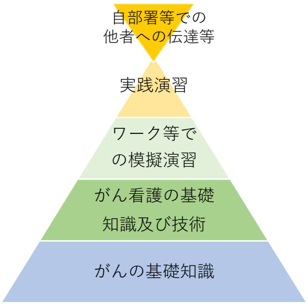
がん看護実践能力向上研修会の成果および評価について

≪成果≫

- 受講者のがん看護実践に必要な基礎知識の向上、意欲・自信・実践の自己評価の向上
- 受講者のアセスメント能力の向上（事例検討）
- 受講者によるがん看護に関する取り組み
- 修了者の認定等資格取得者の増加

4

がん看護実践能力向上研修会の内容



≪R2年度研修予定内容≫
- 自己の課題の明確化と課題への取り組み
- 基礎知識：がんの治療を受ける患者の看護、AYA世代・高齢がん患者への対応、意思決定支援、コミュニケーション、在宅看護、ELNEC-J
- 応用：ローテーション実習、病棟実習
- 臨床での実践、事例発表会

21日間

≪R3年度研修予定内容案≫
- 自己の課題の明確化と課題への取り組み
- 基礎知識：がんの治療を受ける患者の看護、AYA世代・高齢がん患者への対応、意思決定支援、ELNEC-J
- 事例検討
- 臨床での実践、事例発表会

5日間程度
（基本的にオンライン）
全項目修了で修了証発行

検討内容１：研修会の名称変更をするべきか
検討内容２：5日間に変更して研修を継続し、日毎の参加も可能としてよいか
検討内容3：自己の課題の明確化のワークや事例検討はファシリテーター（企画委員）にご協力をお願いしたい

5